

北海道情報大学学内報



NANAKAMADO



● 目 次 ●

新年の挨拶 木下学長.....	2	CLUB自慢.....	7
海外訪問記 福田助教授.....	3	教職員の動向.....	8
第9回蒼天祭特集.....	4~5	10月~12月主要行事.....	8
ゼミナールちょっと拝見.....	6	編集後記.....	8

発行・北海道情報大学
 〒069 江別市西野幌59-2 TEL 011-385-4411 FAX 011-384-0134



新年の挨拶

学 長 ^{きの}木 ^{した}下 ^{いげ}重 ^{のり}教

新年おめでとうございます。

本年は開学十周年という本学にとってめでたい節目の年に当たります。本学の法人である電子開発グループも、本年丁度開基三十周年を迎えると言うから私どもにとって今年は二重の喜ばしい年ということになります。

十年一昔と言いますが、過去を振り返ってみると瞬間に過ぎたような寂寥感に襲われます。

本学は平成元年に開学されましたが第一期卒業生を出す平成五年までの四年間は設立時に申請した年次計画を忠実に実行しなければならぬ所謂「しぼり期間」でありました。この時代は大袈裟な言い回しになるかもしれないが、先生ががたからの要望もあり「しぼり期間」が終わったら！こうしよう、ああしよう夢をもって日々を過ごしていました。

ところが平成四年になって通信教育課程新設の問題が具体化し、平成六年開設を目指して設置申請の準備をしなければならなくなったのです。通信教育は本学発展の奔命の一つと位置づけていましたから平成四年、五年は専らその設立準備のために費やしたのであります。先生方のご協力のお陰で平成六年通信教育は実現しました。

しかし通信教育課程の設置によって本学は再び続いて四年間の「しぼり」を受けることになりました。「しぼり期間」の不便なことは、この期間中は教員の任用、カリキュラムの改変、予算の組み替えなど計画を変更することが困難

なことであります。

このように本学の場合は今まで八年間も「しぼり」を受けてきたのでありますから学部内部充実を図る余裕もなく私自身無為に過ごしてしまっただけのように思います。そうして平成四年にはバブルの崩壊によって日本経済は不況に陥り、今なお続いております。このままでは日本の将来はないと危惧し政府は全力を挙げて改革に取り組んでいます。

かねてから少子化が進行してやがて大学冬の時代がくるといわれてきましたが、最近その気配をひしひしと感じます。「二十一世紀の先駆的役割を果たす大学」を旗印に創設された我が大学は今こそ奮起しなければならないと思います。そのためになすべき第一歩は現存の学部を名実ともに充実させることであります。幸いなことにこの度開学十周年を記念して松尾記念館が建設されることになりました。これによって本学の教育環境も一段と充実され教育の現場に活気が蘇るものと期待しています。第二は本学の将来計画や目標を立てることです。私は数年前理事長から通信教育部設置の提案を聞いたとき情報技術研究所の設置など極めて周知準備の下での提案であることを知り感服したことを思い出します。「しぼり」が終わり且つ十周年記念を迎えたこの千載一遇のチャンスに心を新たにし、深謀遠慮のもとに大学の活性化を図り、新世紀に相応しい大学に発展することを願って新年のご挨拶といたします。

海外訪問記

アンデルセンと図書館の国デンマーク

教養課程 助教授 福田 都代

私は、平成9年8月31日から9月8日まで、国際図書館協会(IFLA)の年次総会に出席するためにデンマークを訪れました。成田からパリを経由し、やっとコペンハーゲンのホテルに到着後、テレビのBBCニュースをみて、ダイアナ妃の訃報を知りました。あとで考えてみると、成田でエールフランス機に搭乗した頃にダイアナ妃が事故にあい、あたふたとパリ空港で飛行機を乗り継いでいた頃に、遺体がロンドンへ空輸されていたと思われる。まったく、歴史的な日に10年ぶりのヨーロッパに来てしまったという感じがしました。

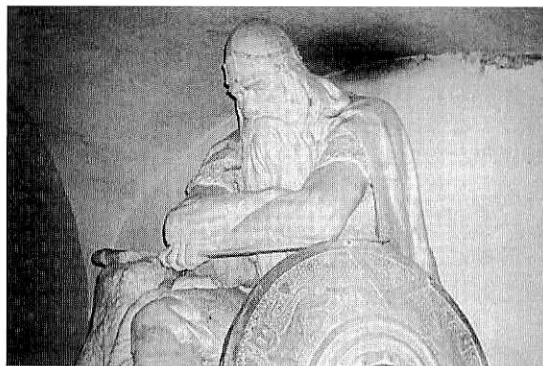
さて、皆さんはデンマークといえば、何を思い浮かべますか？おそらく、バイキングかアンデルセンの国といったところでしょうか？アンデルセンの童話で有名になった人魚の像は、コペンハーゲンの観光名所の一つですが、実は意外に小さな像で、「ヨーロッパ三大がっかり」の1つとして知られています。(あとはドイツのローラレイの谷とロンドンブリッジ)アンデルセンは女性にもてなかったため、一生独身を通し、失恋のエネルギーをすべて童話の創作活動に注ぎ、数々の素晴らしい名作を世に残しました。また、これはあまり知られていませんが、シェークスピアのハムレットの舞台となった城がコペンハーゲンから電車かバスで1時間足らずのところにあります。このクロンボー城は、その昔、軍事防衛のためと牢獄として使用されていました。当時、ここに駐屯する軍隊の食料(とくに野菜など)が十分確保できなかったため、なんと兵士達に大量のビールを飲ませ、常に酩酊状態で、国の防衛をさせていたようです。この陰気な城の中にはデンマークの有事の際に目をさますといわれるホルガー・ダンスケの像がありますが、ナチス・ドイツに攻めこまれてあつという間に占領された時は果たしてどうだったのでしょうか。

デンマークは図書館先進国であり、庶民の生活に図書館は欠かせないものとなっています。1960年代に公共図書館サービスの重要性が認識され、1969年までにすべての自治体に公共図書館が設置されました。現在のデンマークの人口は530万人足らずで、北海道より少ないくらいですが、公共図書館数は250館、分館は843カ所に存在します。

また、住民1人あたりの蔵書数は6冊で、日本の1.4冊と比べると約5倍になります。現在の教育大臣は、司書教諭の資格をもった人で、図書館の問題には非常に熱心に取り組んでいるようです。また、大臣夫人も学校図書館の司書として働いた経験のある方です。図書館行政をすすめるにあたって、まさに最適な人材といえるでしょう。デンマークの消費税率は25%と高いですが、これらの税金を有効に活用し、国民の福祉と生涯教育に積極的に支出するといった政策がこの国の公共図書館システムの構築にあらわれています。

デンマークは積極的に第三世界からの政治難民を受け入れており、タクシーの運転手やホテルの従業員の中にも北欧系以外の顔をした人々は珍しくありません。今回のIFLAの年次総会でも、DANIDA(日本のJICAのように、発展途上国への開発援助を目的とした機関)が第三世界からの参加者50数名に対し、旅費と参加費用を資金援助しました。デンマークを始めとする北欧諸国は開発援助も有効な形で行っており、何かと批判の多い日本のODAと比べると、見習うべき点は多いでしょう。また、国連児童基金(ユニセフ)の援助物資は、世界中から集められた後、いったんコペンハーゲン郊外の倉庫に保管され、ここから援助を必要とする国々に送られています。

今年のヨーロッパは近年になく、長い夏が続き、9月初旬は雨が多く、肌寒いといわれるコペンハーゲンでも日中は24℃もあり、天候にも恵まれました。ヨーロッパは夏に限ると再認識した次第です。



(クロンボー城のホルガー・ダンスケの像)

第9回 蒼天祭特集

DATE 1997.10.17~10.19

実行委員長 室井 敏延

〈蒼天祭を終えて〉

今年のテーマは「Potentiality^{ポテンシヤリティー}」。これは直訳すると「可能性、潜在的なもの」という意味で、潜在的な部分を引き出そう、という事で今までにない事を行いました。

当初、各種イベントを蒼天祭に来てくれたお客さんに多く見てもらう為に校舎中央入口の階段の所をメイン会場にしようとしたのですが蒼天祭の始まる10数日前に急に松尾記念館の工事で使用できないと聞かれた時は、大慌てでパンフレットの直しなどを行い、メイン会場も中庭に特設ステージを設営する事にしました。特設ステージでは昨年から人気のイベント、コーラ早飲み大会、カラオケなどを行い、お客さんや模擬店を出店している人達が見に来てくれました。

模擬店も過去最高の17店も出店してくれ、様々な種類の店が立ち並び学生達の学祭に対する意識も高まってきていると思います。

そして、樋口明日香・A B Y S S Special Liveでは多くの学生やお客さんが見に来てくれて大いに盛り上がっていました。後日この模様はTVhのパワーギャングという番組でオン・エアされました。

そして今回初の試み、3 on 3大会、当日は朝から大雨で中止かと思われましたが街頭でビラ配りやポスター貼りの努力が実ったのか少しずつ晴れ間がのぞき約一時間遅れで試合開始となり白熱した試合が見られました。

後夜祭では抽選会を行い多くの商品を用意し、体育館いっぱいの学生やお客さんが来ました。

模擬店、Live、3 on 3など年々規模が大きくなってきているので学生の参加を増やし、来年は10周年なので今年の失敗、成功を活かし1年に1度のビッグイベントを次の実行委員は盛り上げていって欲しいと思います。

最後にご協力くださった皆様方に、この場を借りて御礼申しあげます。

〔前夜祭〕

前夜祭ではビンゴ大会を行い、カラオケ大会を行いました。前夜祭ということもあり今いち盛り上がり欠けていました。

〔各種イベント〕

今年はメイン会場を中庭特設ステージとしたため雨で中止になったのもありました。

〔オセロ大会〕

これは体育館で行い、手作りの特大オセロで行い観客にもよく見えるようにしました。

〔ゲーム大会〕

202教室の特大スクリーンでマリオカートやぷよぷよ大会を行い、近所の子供達もたくさん参加し一番盛り上がりを見せたイベントでした。

〔コーラ早飲み大会〕

200mlのピンコーラを早飲みするというゲームで一気の最中に吹き出してしまふ人も続出。観客も楽しんでいました。

〔キックターゲット〕

1~9まで書いたパネルを四角い枠につけサッカーボールを蹴ってパネルに当たるというゲーム。見かけは簡単そうだがやってみるとかなり難しい。

〔模擬店〕

今年は過去最高の17店舗。お馴染みのお好み焼き、たこ焼き、焼きそば、カレー屋、串焼き等フリーマーケットは今年も繁盛していました。子供に人気だった射的や写真展、人生相談などユニークなお店も増えました。

模擬店を出展してくれた皆さん御苦勞様でした。来年も売上げ増を目指して頑張ってください。

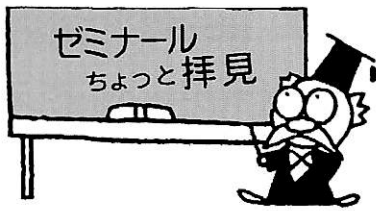
〔有志バンド〕

軽音楽部が中心に運営してくれました。昨年末で体育館でライブを行っていましたが今年は204、206教室を使い、ライブハウス感覚でとても盛り上がりました。

MEMORIAL PHOTO

by 蒼天祭





森ゼミナール

3年 飛田 謙一郎

こんにちは、森ゼミナールです。

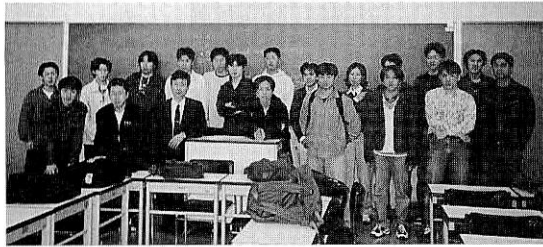
今回、学内報でゼミの紹介をしてくれるということなので、森ゼミとは、どんなゼミなのか簡単に説明したいと思います。

ゼミ生の数は、4年生15人、3年生6人で今年はスタートしましたが、元真野ゼミの3年生も途中から加わり、28人の大きなゼミになりました。

ゼミの研究テーマは、「経営戦略論」というもので、今年は2冊の本を研究しました。毎回毎回ゼミの時間に、本の各章の担当者がレポートを作成、発表し、それについて議論するというのが、ゼミの基本スタイルですが時々、「日経ビジネス」などの雑誌から、自分の興味のある記事を選んで、レポートにするといったこともやっています。

あと、森ゼミではゼミコンパを年平均2、3回やっていて、毎回大変盛り上がっています。カラオケでは、先生が洋楽を心を込めて歌ってくれます。

森ゼミでは、レポート書きが多くて結構大変ですが(レポート作成量なら学校一かも)、遊びも多くやる楽しいゼミ、つまりよく学びよく遊ぶ。そんなゼミです。



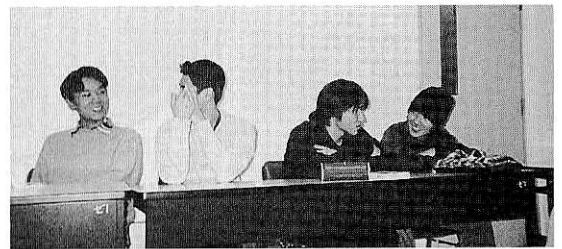
関ゼミナール

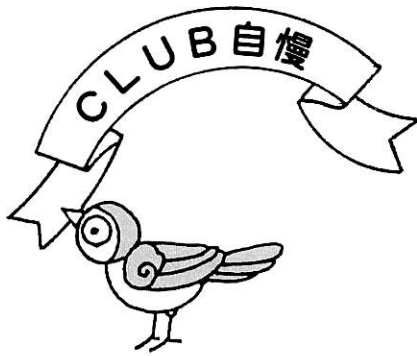
4年 田中 輝之

私達のゼミは、3・4年生合わせて22人という多人数で、学年別に分かれて活動を行なっています。内容は「数学モデルの設定から問題解決まで」で、数学嫌いの人達には憂鬱になる様な内容です。私達4年生は1人1人課題が与えられ、毎週1人づつ与えられた課題についての研究発表を行ないます。その発表に漕ぎ着けるまでの苦労と先生の質問攻めは、ゼミ生全員を悩ませています。

ゼミ生の日常生活は平凡で真面目な男達ばかりですが、飲み会等の懇親会の時には、1人1人個人的な話に花が咲いて楽しいです。それに加えて、先生も日頃見せない姿を見せてくれます。今は、全員卒業研究に取り掛かっており、4年間の勉強成果を纏めるべく一步一步進んでいます。ゼミナールの日数も残り少なくなったので、最後までしっかり勉強を行ない、良い卒業研究にしようと決意を新たに固めて取り組んでいます。

後期試験が終り、卒業記念小論集の原稿を提出した後、定山溪で、ゼミ生と先生と一緒に1泊打ち上げコンパを計画しています。今から楽しみです。





スノーボード部



部長 2年 武田 一成

スノーボード部ノーティーズです。ノーティーズは、部員100人近い情報大最大のサークルです。スノーボード部のある大学は全国でも数少なく、ノーティーズはその中の1つです。ノーティーズとは“わんぱくな”という意味で、その名のとおりとても活発なサークルです。

シーズン中は、主に札幌国際スキー場でほとんど毎日たのしく滑ってます。レベル的にもけっこう高いチームなんです。オフシーズンは、トランポリンやスケートボードなどで楽しくスノーボード技術の向上を目指しています。1年生から4年生まで仲が良くていいとこだらけです。皆さんも一緒にスノーボードしてみませんか？



男女バスケットボール部



主将 2年 関塚 良幸

現在、バスケ部は男子が2年生と1年生しかおらず合計13人、女子は3年生が1人、2年生と1年生が7人の合計8人、マネージャーが3人で構成されており、4年生が1人もいない若いチームです。そのため、まだチームにまとまりがなく、今シーズンはあまり良い成績を残すことができませんでした。

北海道学生バスケットボール連盟は男子が43チーム(1部~4部)、女子が23チーム(1部~3部)で成り立っています。今年、男子は惜しくも上部に上がれず、女子は昨年部員数が足らず試合に出ることができず、今年から参加したということもあり同じく上部に上がれず、お互い悔しい思いをしました。

練習は夜6時半から9時位までやっており、その内容(メニュー)もミーティングを開き、自分達で考え、上部リーグへ上がることを目標とし、がんばっています。

練習を毎日したいのですが、体育館の割り当てもかなり制限され、しかもバスケットコートが1面しかはれないため、男女では半分ずつしか使えません。床も通常のものとはちがいで、コンクリートでできているため、足腰にかなりの無理がかかります。故障を起こす人も後をたちません。

良い練習環境とはいえませんが、上のチームに勝つには練習しかありません。この冬にさらに力をつけて、来シーズンは良い成績を残せるようがんばりたいと思います。

◆◆ 教職員の動向 ◆◆

☆ 大 学 ☆

◇ 教員人事 ◇

11月1日付採用
教授 佐久間 安世

◆◆ 10月～12月主要行事 ◆◆

☆ 大 学 ☆

10月17日(金) 教授会
17日(金) 第9回蒼天祭
～19日(日)
11月14日(金) 教授会
12月12日(金) “
26日(金) 仕事納め

☆ 通信教育部 ☆

〈平成10年度 学生募集〉
10月1日(水) 募集開始
31日(金) 第1回入学選考
11月21日(金) 第2回 “
12月19日(金) 第3回 “

〈後期地方スクーリング〉

10月2日(木) 広 島
～4日(土)
3日(金) 新潟を除く全国
～5日(日)
4日(土) 新 潟
～6日(月)
6日(月) 北九州
～8日(水)
10日(金) 札幌・名古屋・大阪
～12日(日)
15日(水) 福 岡
～17日(金)
16日(木) 新 潟
～18日(土)
17日(金) 札幌・名古屋
～19日(日)
21日(火) 広 島
～23日(木)
24日(金) 全 国
～26日(日)

11月27日(月) 水 戸
～29日(水)
31日(金)
～11月2日(日) 福 岡
11月13日(木) 福 岡
～15日(土)
14日(金) 札幌・大阪を除く
～16日(日)
15日(土) 大 阪
～17日(月)
21日(金) 札幌・新潟・名古屋・広島・
北九州・千葉
～23日(土)
28日(金) 札 幌
～30日(日)
11月4日(火) 後期レポート提出期間
～10日(月)
12月15日(月) 後期放送授業科目試験
～19日(金)

◆◆ 広報活動 ◆◆

10月4日(土) 進学相談会東京会場
(私立協道支部主催)
14日(火) 高校内ガイダンス(稚内)
15日(水) “ (北見緑陵)
20日(月) 予備校内ガイダンス
(札幌予備学院)
21日(火) 高校内ガイダンス(千歳)
24日(金) “ (札幌啓成)
11月22日(土) 一般入試説明会 仙台会場
12月6日(土) 入試直前ガイダンス(名古屋・大阪)
13日(土) “ (札幌)

◆◆ 主な来校者 ◆◆

10月29日(水) 私立大学退職金財団
業務部次長 他2名
12月11日(木) 江別リサーチセンター
共同研究者
中国南京大学 潘 教授 他2名
タイ KMI T L 産業教育学部
Surasit Ratre博士 他1名

編 集 後 記

“新生学生報”として華々しく(?)デビューした『ななかまど』も、第7号を刊行するに至り、早いもので、今号の『蒼天祭特集』も、昨年を引き続いての第2弾となりました。「開学まだ間もない」というのが、枕詞のようにくっついていた本学も、ついに開学10周年! (そして私も勤続X年) こうやって歴史は刻まれ、伝統は作り上げられていくのかと、『蒼天祭』の写真の顔触れを見ながら、あらためて人の移り変わりと、時の経過を実感しています。

さて、今回の『ななかまど』は、“新年明けましておめでとうございます”号。政治、経済、社会不安の渦の中で迎えた、この新しい年が、希望の21世紀に向けての、明るい前進の年になってくれることを、願わずにはいられません。1998年が、『松尾記念館』の完成と共に(新図書館も含む♥)、本学に、新しい歴史を刻む年となりますように。

(O)

北海道情報大学学内報

「ななかまど」第7号

発行日 平成10年1月1日
発 行 北海道情報大学
編 集 学内報編集委員会